

「幸福」

幸福とは、何を持っているか、何をすることができるかということではない。
 心の中から自然に湧いてくる小さな希望を感じること、そしてその喜びをそば
 にいる人と分かち合うことができること。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

夏が終わり過ぎやすくなる秋は、少しずつ夜の時間が長く感じられるようになります。
 ゆったりと自分をいたわる時間をいつもより長く持ち、興味あることをじっくり行うのにも良い
 季節です。読書をして物語の世界に浸ってみたり、好きな香りに包まれリラックスしたり、
 空気の澄んだ秋の夜空を見上げ季節を感じたりすることで心豊かに、穏やかになると思
 います。また日々の生活の中で美味しい物を食べたり、同じ時間を共に過ごし小さな発
 見や思いを共感したり心から湧き上がる嬉しさや楽しさ、感動を家族や友だちなど身近
 な人との繋がりを大切にしながら気持ちを分かちえることは何にも代えがたい幸せでは
 ないでしょうか。

今年度は、音をテーマに活動を進めています。音楽や身の回りの音を聴き、心地よい
 ワクワクする、何だろ、不思議だななど感じる心やこころしてみようと工夫したり、やってみよ
 うと思う気持ちを大切にしています。また異年齢での関わりの中においても共に過ごす時
 間の中で、互いに感情を共有することで思いやりの心が育まれています。フェスティバル
 では生き生きとした表情や一人ひとりの成長、子どもたちが奏でる音を感じて頂ければと
 思っております。運動会も形を変えての開催となりますが、引き続き感染対策を行いなが
 ら、子どもたちの健康を守るよう配慮していきますので、ご理解ご協力をお願いいたしま
 す。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子
 職員一同

10月聖句

いかに楽しいことでしょうか 主に感謝をささげることは

詩編92編2

10月主題

「たのしい」0歳

- ・保育者と一緒にさんびかを歌おうとする。
- ・全身を使ってのびのびと遊ぶ心地よさを味わう。
- ・保育者との関わりを深め、安心して過ごす。

1・2歳

- ・保育者や友だちと一緒に祈り賛美する。
- ・身体や心を動かして遊びを楽しむ。
- ・のびのびと表現したことをまわりの人に受け止めてもらう。

～子どもたちの姿～

涼しい秋風と高く澄んだ空に、大きく深呼吸したくなるような気持ちの良い季節になってきました。
 心地よい風に子どもたちも「気持ちいいね」と声に出したり、芝生に寝転がり空を見上げ、雲が動く様
 子を見たり花の香りを嗅いだり、鳥や周囲の音に胸を躍らせ「何の音？」「しーっ」と耳を澄まし五感
 を刺激しています。特に今年度は音を感じられるような活動を多く取入れ、紙や廃材を使い作った道
 の上を歩き「カサカサする」「くすぐったいね」「気持ちいいよ」など思いを言葉にしたり、鈴の入った玩
 具を振ったり転がす向きを変えたり、音階を奏でる玩具の上を跳ねたりと試しながら遊ぶ姿も多く見られ
 るようになりました。また運動面でもはいはいや歩行や両足跳び、蹴るなど年齢に応じ、伸び伸びと身
 体を動かしています。ぜひ、フェスティバルでは子どもたちの成長を感じて頂きたいと思ひます。



【10月の讃美歌】

はたけにおやさい
 わたしたちのたべるもの

【10月のうた】

いもほりのうた
 たき火

	月	火	水	木	金	土	日
10 月 の 予 定 表				1	2	3	4
	5	6	7	8 身体測定	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20 避難訓練	21	22 検体1回目提出	23	24	25
	26	27	28	29 クレイシュ通信	30 フェスティバル	31	
	◎10月30日のクレイシュフェスティバルの詳細は後日手紙を配布いたします。 ◎気温差の変化に対応できるよう、着替えの準備をお願いいたします。						